

第57回国連CSWにおける日本のNGO3団体と国連代表部との共催事業について  
国連NGO国内婦人委員会 平松昌子

第57回国連女性の地位委員会の主要テーマは「女性と女兒に対するあらゆる形態の暴力の根絶と防止」です。女性に対する暴力防止は日本でも大きな社会問題であるとの認識を踏まえ、国連の活動に深い関心を寄せている女性NGO3団体と日本国連代表部との共催によるワークショップを行うことになりました。

◇タイトル：女性に対する暴力の削減に向けて現状と対策

◆日時：2013年3月6日（水）11：30－12：45

◇会場：国連本部 NLB 室 B

◆主催：NGO3団体（国連NGO国内婦人委員会・国際婦人年連絡会・JAWW（日本女性監視機構））

◇共催：日本国連代表部

◆使用言語：英語

◇形式：状況についての報告と質疑応答

◆プログラム(案)：

・司会 国連NGO婦人委員会 平松昌子

・挨拶 JAWW（日本女性監視機構） 田中正子

・挨拶 国連代表部（予定）

・報告 1) 増加するデートDV：その現状と対策

城倉純子・牧島悠美子（国際婦人年連絡会・大学女性協会）

5人に1人の女性が中学生時にデートDV被害を受け、被害者の9割は10代で起きているとの調査結果を基に加害者対策の必要性を提言

2) JICAによる人身取引被害者の保護と取り組み：タイの事例

百生詩緒子（JICA 長期専門家 タイ国人身取引被害者保護・自立支援促進プロジェクト・チーフアドバイザー）

① JICAの人身取引に関する取り組み、②タイとの協力活動 ③タイ人被害者に対する支援活動 ④タイ人被害者の自立への課題等

3) 女性と経済・暴力に大きく関わるものは何か

エリザベス・ベンハム（BPW国際連合会前会長）

暴力への挑戦とは何か、世界の流れから、女性に対する暴力を削減するためには、女性が経済的力をもつことの力を提案する。

4) 女性に対する暴力について－政府の立場で（調整中）

・来場者との質疑応答

・まとめ

## CSW57参加予定の皆さまへ

今回は国連 NGO 国内婦人委員会の日本 BPW 連合会より現地でのご案内等を行いますので、以下の情報を 2 月 28 日 (水) までに担当者までメールにてお知らせくださるようお願いいたします。(※は必須、その他は差し支えない範囲でご記入をお願いします)

＊氏名 ・(漢字)

・(パスポート記載のローマ字表記):

＊所属 NGO :

＊通常日本国内でご使用のメールアドレス :

＊NY 滞在中連絡可能なメールアドレス :  
同 TEL :

＊以下のイベントへの参加希望の有無

- [ ] ①日本国連代表部によるブリーフィング(1 週目、日時は追って連絡)  
[ ] ② 同 (2 週目、同)  
[ ] ③サイド・イベント"Situation & Measures to Eliminate Violence against Women"  
3/6 (水) 11:30~12:45

滞在期間 (到着日から出発前日まで):

滞在場所 (ホテル名等):

NY では

・上記イベント①②について

セキュリティ上、予め参加者の登録が必要です。

待ち合わせ場所、時間など、追加・変更情報をお知らせします。

・イベント③について

収容人数に制限がありますので、先着順といたします。

入場にはグラウンド・パスの他、TAG が必要です。TAG をまとめて確保します。

TAG の受け渡し方法についてお知らせします。

|         |    |                              |
|---------|----|------------------------------|
| BPW 担当者 | 平松 | masa-502@palette.plala.or.jp |
|         | 村田 | mika@ssys.co.jp              |
|         | 小泉 | koizumi@j-win.jp             |
|         | 福島 | higu-fuku@jcom.home.ne.jp    |